

## FESが考える耐久性とは？

コンクリートに比べて耐久性が低いとされている木材。果たしてそうなのでしょうか？ 建立後一千年以上経っている古建築が存在する以上、我々は決してそのようなことは無いと考えています。木材は伐採後数百年で最も強い強度を発揮するといわれています。また大切に扱えば千年・二千年もの寿命をもつともいわれています。FESではこの素晴らしい木材という資源を大切に、そして腐朽菌や白アリが好む環境を与えずに長持ちさせることが、何よりも住まいの耐久性を高めることであると考えています。

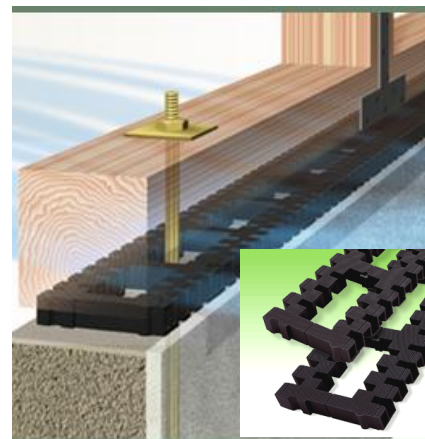
床下の風をデザインする

### Jotoキノパッキング工法

## キノパッキンロング

床下の隅々まで自然の風を行き渡らせるJotoキノパッキング工法。床下の湿気を排出して理想的な床下環境をつくり、基礎コンクリートと相性の悪い木質土台部分を絶縁します。理想的な床下環境をつくることで、腐朽菌やシロアリの発生を未然に防ぎます。そしてその結果、住まいの高耐久をも実現するのです。

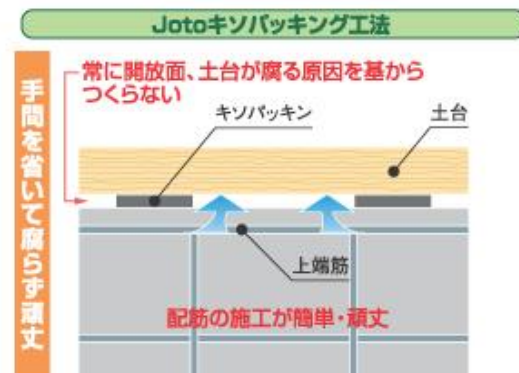
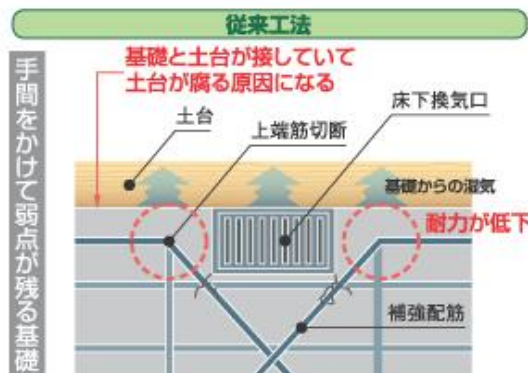
基礎コンクリートと木質土台をしっかり絶縁することが住まいの高耐久化につながります。



耐久性・構造安全性能を実現！

### 1 Jotoキノパッキング工法の目的

基礎強度の比較「どちらを選びますか？」



- 基礎に換気開口部を設けるのに上端筋を切断するため耐力が低下。地震に弱く、クラックの原因になりやすい。
- 基礎と土台が接しているため、土台が腐る原因になる。

- 基礎と土台の間が換気口なので配筋など施工が簡単。基礎に開口部が無いと、丈夫な基礎になる。
- 基礎と土台の間が離れているので土台が腐らず乾燥状態を維持できます。

### 2 省エネ・耐久性を高める換気とは

住まいの省エネ・高耐久の条件は湿気の除去。

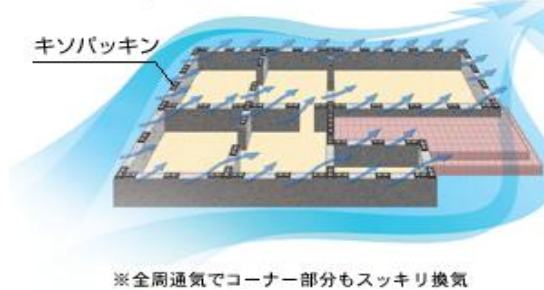
Jotoキノパッキング工法は、床下全域の湿気を排出できる良好な床下環境を造ることで断熱材の性能を維持。更に土台の腐れを防ぎ、シロアリや腐朽菌を寄せない好条件をつくることとなります。

- ムラの無い全周換気でコーナーの隅々まで換気。
- 断熱材の中の湿気も排除して、断熱材の性能を維持します。
- 床下の乾燥状態を維持し、腐朽菌の発生を未然に防ぎます。

※公的機関からの評価承認：換気性能・耐久性能評価（住木評価第6-1号）

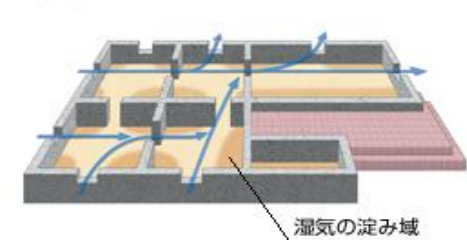
### 換気システムの排湿効果

● Jotoキノパッキング工法



※全周通気でコーナー部分もスッキリ換気

● 従来の工法



※コーナー部分は湿気がこもりやすい

### 3 住まいが朽ちるのは、土台の腐れから始まる。腐れ・シロアリの寄せつけない秘密

コンクリートの基礎と木質の土台を絶縁しました。

土台がコンクリートに接すると、腐りやすくなりシロアリの餌食となります。基礎と土台の間にキノパッキンを設置するだけで、腐る原因を無くし、シロアリが息しにくい床下環境をつくります。

- 土台がコンクリートの水分を吸収するのを防ぎます。
- 土台の適度な乾燥化に腐れを防ぎ、シロアリの寄せつけません。
- キノパッキンとキノパッキンの間は常に開放面となり、さらに木材の乾燥を促進します。

### Jotoしろあり補償制度

自信があるから、10年間、最高500万円の長期安心補償です。

「Jotoキノパッキング工法」は、シロアリが嫌う乾燥した床下環境を作ることでシロアリの被害を防ぐという、人にも環境にも優しい工法です。この工法は、過去35年の間に120万戸の住宅で採用されています。「Jotoしろあり補償制度」は万が一、シロアリ被害が発生した場合でも、10年間にわたり、最高500万円まで補償するものです。キノパッキング工法、そしてその構成部材をきちんと使用すればシロアリの被害は防ぐことができるという自信があるからこそこの制度です。

